

令和 7 年度 事前評価書要旨

対象事業名	鹿島第 1・2 期工業用水道強靱化事業
1. 事業の目的	
鹿島第 1・2 期工業用水道は、茨城県の南東部に位置し、鹿島臨海工業地帯を中心とした進出企業の工場建設計画及び工業用水の需要に応じて 2 期に分けて建設を行っており、第 1 期 210,000 m ³ /日は、昭和 41 年度から建設を始め、昭和 46 年度に施設が完成し、第 2 期 600,000 m ³ /日は、昭和 44 年度から建設を始め昭和 52 年度に建設が完成している。平成 23 年の東日本大震災による工業用水配水管の被災状況を踏まえ、災害や漏水事故等への危機管理体制を強化するとともに、安定した工業水の供給を図ることを目的として工業用水道管路の耐震化を推進する。	
2. 事業の必要性	
鹿島第 1・2 期工業用水道は、平成 23 年の東日本大震災による工業用水道配水管の被災状況を踏まえ、災害や漏水事故等への危機管理体制を強化するのととも、安定した工業用水の供給を図る必要がある。鹿島第 1・2 期工業用水道には、管路の耐震性能が備わっておらず、発生が予測される首都直下型地震に、緊急対策区域に該当するたため施設が損壊し、断水が生じ、早期に供給が支障をきたすおそれがある。また、市民生活にも多大な影響が生じ、早期に供給が支障をきたすおそれがある。このため、工業用水道の耐震化を図る必要がある。	
3. 効果とコストとの関係に関する分析	
A. 総便益	; 68.25 億円
B. 総費用	; 19.77 億円
費用便益比	; 3.45 (A / B)
4. 評価結果	
工業用水道事業に係る政策評価実施要領に照らし合わせた結果、前提指標である費用便益比 1.0 以上等を満たしており、優先採択指数である事業の緊急性を要していることから、本事業は補助対象として妥当である。	